

# 熊本地震を教訓に防災力強化

## 新設体育館にLPガス災害バルクと発電機設置

### 学校法人銀杏学園 熊本保健科学大学 (熊本県熊本市)

#### LPガス設備で避難所機能を充実

学校法人銀杏学園熊本保健科学大学は、新設する体育館にLPガス災害バルク貯槽と非常用発電機などを導入した。

同大学は、2013年5月に熊本市と災害時の福祉避難所設置運営に関する協定を締結した。その後、2016年4月に熊本地震が発生し、被害は軽微で済んだものの、さらに**防災力を強化する必要性を感じた**。今回、**体育館に非常用LPガス設備を整備したことで、要介護者や妊婦など災害弱者を受け入れる避難所として機能の充実を図った**。

#### ユーザーの声



熊本保健科学大学  
総務部環境施設管理課課長

三牧 泉 さん

#### 災害時に最小限必要な機能をLPガスで賄う

熊本地震の時に何より怖かったのは、停電と飲料水の不足です。地震後は飲料水を備蓄し、今回の体育館新設を機に災害バルクと非常用発電機を導入したことで、**災害時に最小限必要な機能をLPガスで賄えるようになりました**。

当大学は市の災害時福祉避難所として、大学全体で受け入れ態勢を整備しています。看護学科にあるベッド等の設備も活用でき、学生と協力して災害時には臨機応変な対応ができるよう備えています。

#### 設置機器

- ・災害バルク貯槽 (1t)
- ・非常用LPガス発電機 (200kVA)
- ・LED投光器×3台



熊本保健科学大学の体育館



災害バルク貯槽